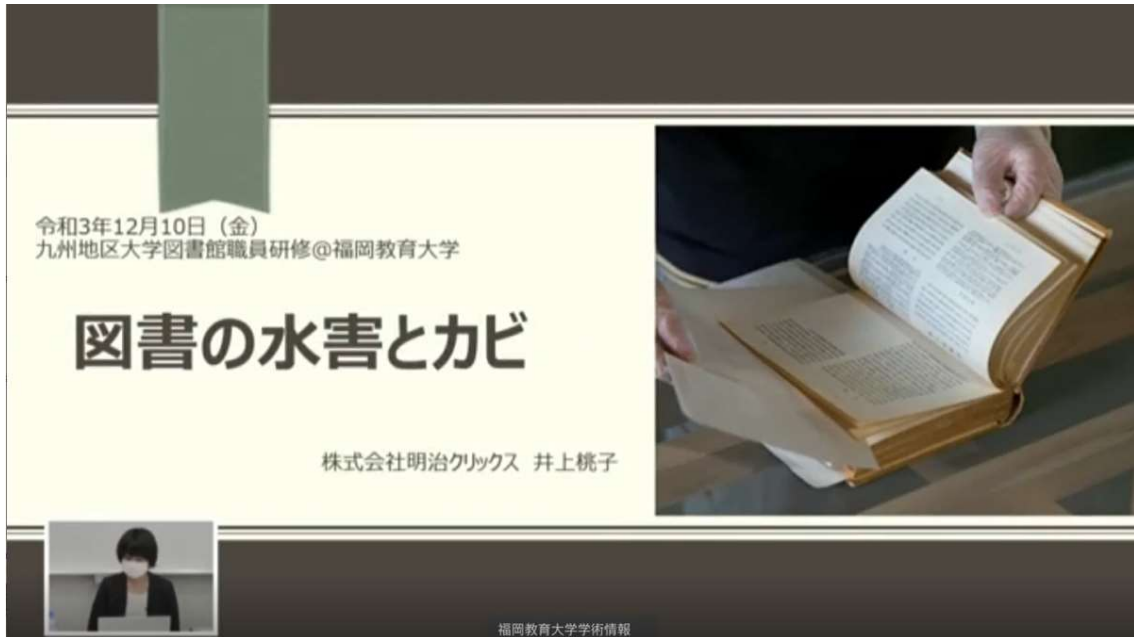


令和 3 年度国立大学図書館協会地区協会助成事業 研修報告

テーマ	図書のカビ対策及び水損資料レスキュー
該当するビジョン 2025 の重点領域・ 目標・行動計画	重点領域1. 知の共有:蔵書を超えた＜知識や情報＞の共有 目標 1-2) 図書館資料の整備と利用のための保存 重点領域3. 知の媒介:知の交流を促す＜人材＞の構築 目標 3-2) 国立大学図書館職員的能力向上 行動計画 3-2-2) 中・長期的な職員の育成方針に基づき、職員に標準的能力及び自館の特性に応じた専門的能力を習得させる。
事業目的・趣旨	収蔵環境や水害等により発生したカビ被害や水損を受けた資料をどのように処理するかは各大学図書館において喫緊の課題となっている。本セミナーにおいては、図書に発生するカビの予防及び対策や水損資料への応急処置等についての知識修得を目的とし、各図書館における資料保存機能の向上に寄与する。 また、セミナーの実施方法はコロナ禍の情勢を鑑みて web 開催とし、事後にアンケートを実施する予定である。
実施内容 (実施日、会場、 参加者数等)	本事業は、九州地区国立大学図書館協会会員館の職員研修ワーキンググループが中心となって企画し、コロナ禍を鑑みて web 開催とした。 ・開催概要 日時：令和 3 年 1 2 月 1 0 日（金） 主催：九州地区国立大学図書館協会 共催：九州地区大学図書館協議会（予定） 講師：株式会社明治クリックス 井上 桃子氏 内容：web 講演 参加申込者：55 名

セミナーの様子（Webex の画面）

・ 講演：図書の水害とカビ



令和3年12月10日（金）
九州地区大学図書館職員研修@福岡教育大学

図書の水害とカビ

株式会社明治グリップス 井上桃子

福岡教育大学学術情報

・ 図書館において想定される水害の種類について



図書館の水害

下からくる水害	上からくる水害
原因 河川増水・台風・豪雨 低い土地・山の傾斜 湧水槽の不具合	原因 台風・豪雨 雨漏れ 配管破裂・空調機械から漏水

福岡教育大学学術情報

- ・ 上から来る水害（図は壁面からの漏水）の事例紹介

水が染み出しカビが発生



福岡教育大学学術情報

- ・ 水損図書の乾燥方法について説明

乾燥方法 量や程度に応じた手段を検討する

乾燥方法と最低限必要なアイテム

- 自然空気乾燥法 ————— 脱水紙・送風機器
- スクウェルチ・ドライイング法 ————— 脱水紙・圧縮袋等
- 真空凍結乾燥法（フリーズドライ）—— 氷点下の真空チャンバー（専用大型冷蔵庫）

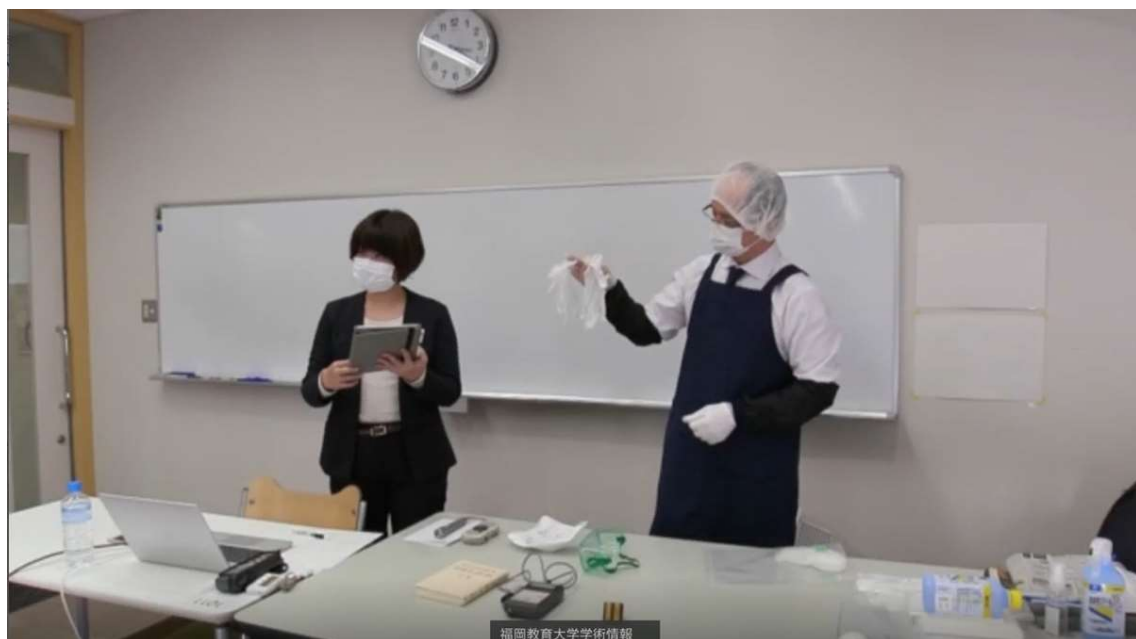
時間稼ぎが必要なら

- 冷凍 ————— ポリ袋・冷凍庫
- 脱気法（脱酸素）————— 脱酸素剤・ガスバリア袋（圧縮袋でも可）



福岡教育大学学術情報

・ 図書の措置に当たっての道具紹介



・ 作業実演：水損図書の乾燥



・作業実演：図書のドライクリーニング



・作業実演：図書のウェットクリーニング



令和3年度「図書のカビ対策、及び水損資料レスキュー」事後アンケート集計結果

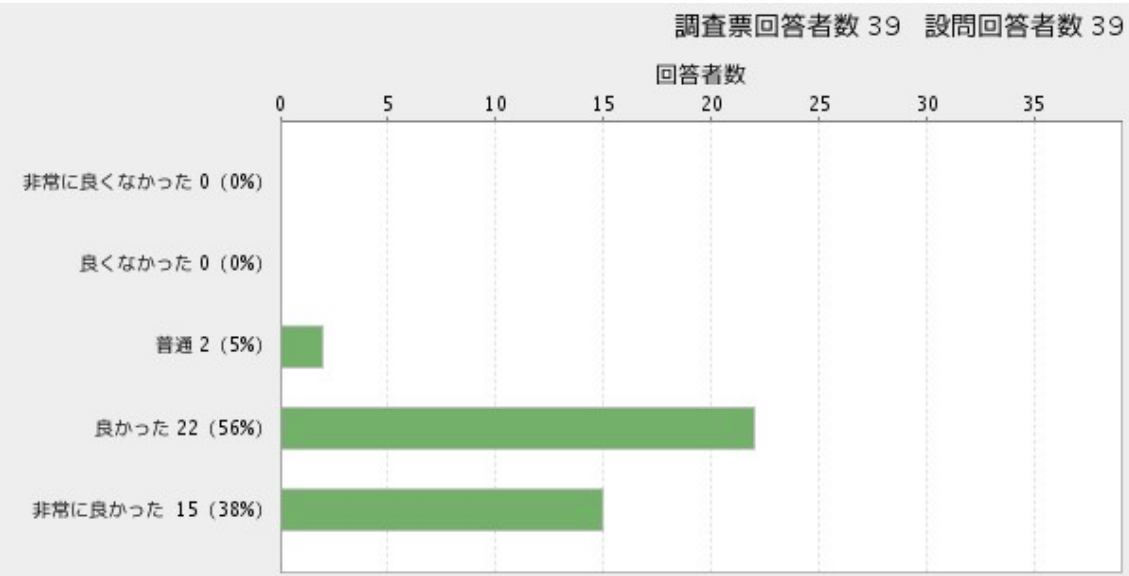
開催日：令和3年12月10日（web開催）

参加申込者：55名

回答者：39名

1：今回のセミナーの内容について

非常に良くなかった	0(0%)
良くなかった	0(0%)
普通	2(5%)
良かった	22(56%)
非常に良かった	15(38%)

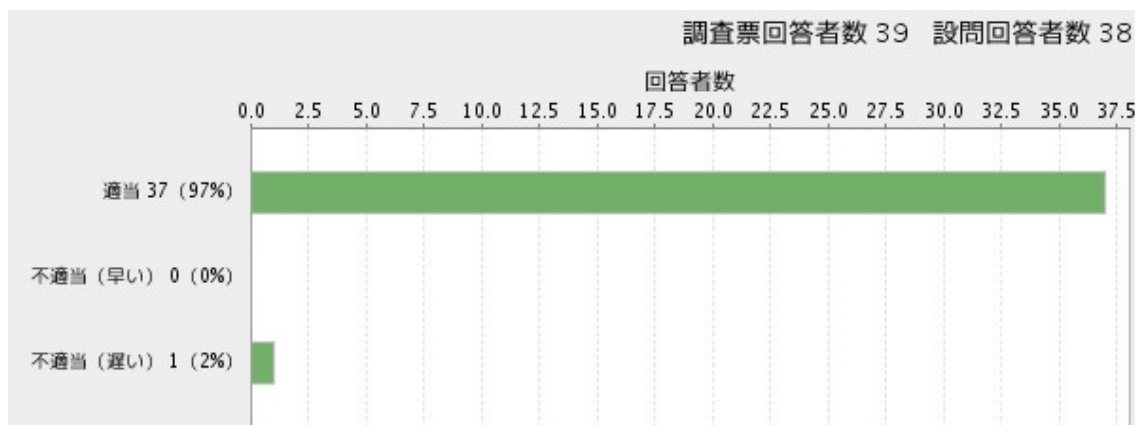


2：同一テーマ（図書館における資料保存）で再度セミナーを実施する場合、取り扱ってほしい内容等がありましたらご記述下さい。

修繕、クリーニング
本の修復（修理製本が高価なため、応急処置などを知りたいです）
修繕クリーニング
修理等、日々のメンテナンス
資料の修繕方法など。
資料の修理方法を知りたいです。
貴重資料の保存方法、破損図書の修理方法など
資料の素材（革・布・紙等）による資料保存方法の違いについて
虫害対策
虫害の対応
資料を読み込むだけでは分からなかった作業もあり、実践での講習は大変分かりや

すかったです。今後も実技講習と併せ、使用する道具もご紹介いただきたいです。
図書の装備の仕方。二つの図書館を経験してるが、装備の仕方が両方で異なり、どちらがより資料保存のためにより装備なのかと疑問に思っているため基準となる装備の仕方があったら知りたい。（ハードカバーの布っぽい表紙の時には一方はビニダインで請求記号をカバーし、もう一方はフィルムコートをしたあとアイロンであて布してくっつけるやり方だった）
資料保管環境の改善とその方法について資料の修復と保存について
表紙の一部が欠けている資料（特に背表紙など）の修復方法を教えていただきたいです
本年４月に配属となりましたので、いろんなことを学んでいるところです。対象者の経験値のどこを対象とするのかは大変難しいかと思いますが、基礎から応用のいずれの内容も大変興味深いものです。具体的な提案はできませんが、定期的なセミナーを行っていただけるとありがたいです。
図書の修理について
虫害への予防と対策

４：開催時期について



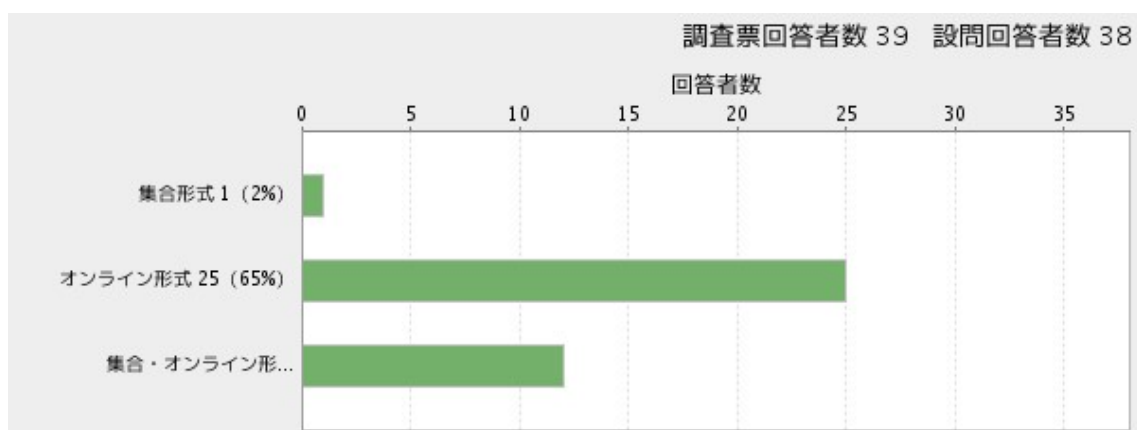
5：開催日程，時期についてご意見があればご記述ください。

出来れば12月より少し早い時期に開催いただくと参加を希望される方が増えたように思います。
参加しやすい時期でした。
夏の間に書架のカビが発生するため、夏季に開催できるようなら夏季も行ってほしい
8月とかもう少し早い時期だと、セミナーで学んだことを仕事に反映しやすいかと思った。

6：セミナーの開催形式について、集合研修とオンライン形式のどちらが適切と感じたかお答えください。

集合形式	1(2%)
オンライン形式	25(65%)
集合・オンライン形式を併用	12(31%)

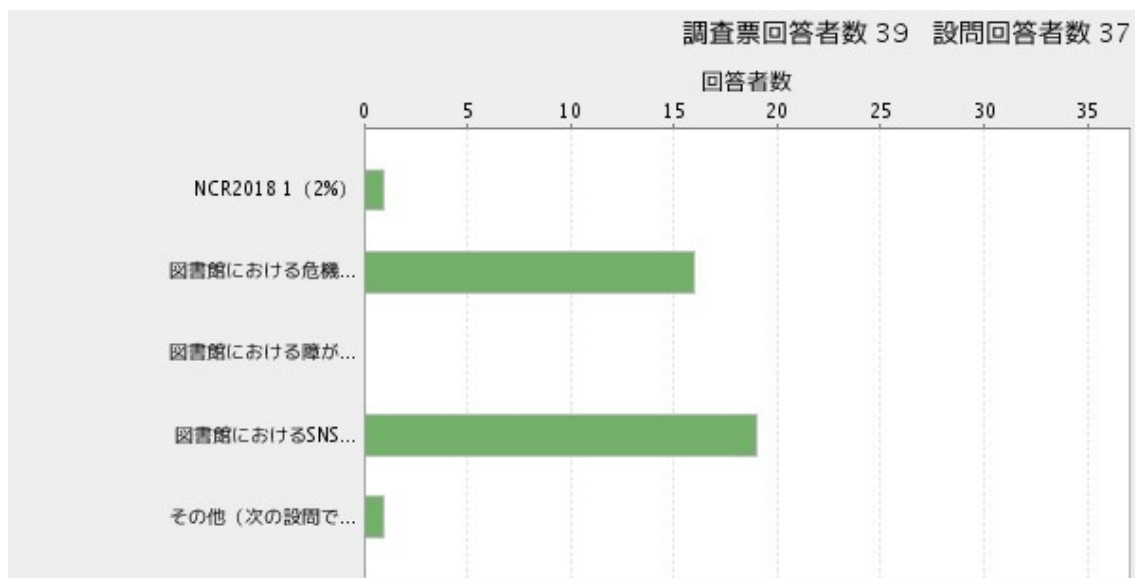
無回答	1(2%)
-----	-------



7：今後，図書館職員向け研修として取り扱ってほしいテーマがありましたらご選択ください。

NCR2018	1(2%)
図書館における危機管理	16(43%)
図書館における障がい者対応	0(0%)
図書館における SNS 活用と情報発信	19(51%)
その他(次の設問で後記述下さい。)	1(2%)

無回答	2(5%)
-----	-------



8：設問7にて「その他」をご選択の場合、取り扱ってほしいテーマをご記述下さい。

著作権法関連

9：そのほか、全体を通してご意見・ご感想がありましたらご記述ください。

本学も昨年、スプリンクラーの管破裂により水害に遭いました。初めての体験だったのと、広範囲で水害にあったので苦労しました。その時にネットで他館の水害時の対応を参考にしてお対応したことを思い出しました。数が多かったのとお金もかけられなかったのも、燻蒸などの処置はできませんでした。含水計のことも知ることができて良かったです。ありがとうございました。

当館ではカビマニュアルとしてインターネットを参考にした自作の物を使っていましたが、内容が大きく間違っていないことを確認出来て良かったです。また、プラスアルファで追加した方がいい処理や道具、予防策などを知ることが出来、さっそくマニュアルをアップデートし担当内で共有いたしました。ありがとうございます。

実例も用いて説明されており、わかりやすかったです。ありがとうございました。

水損に対する具体的な対応策が知れて良かったです。Web 開催という点も参加しやすく助かりました。大変参考になりました。ありがとうございました。

今回のセミナーを通して、水害が起こりそうな箇所を日頃から確認しておく必要性を感じました。資料のカビの拭き取り作業に必要な道具など改善すべき点を職員間で再確認する機会となりました。ありがとうございました。

2年以上前に当館勉強会にて、「図書館におけるカビ予防と対策」を受講する機会がありました。その後、古書等のクリーニングに役立てることができました。また、この度は、水害に特化した内容で更に見識を深め、日頃から漏水や湿気に気を配る必要性を学びました。実践しながら、資料保存に貢献していくよう努めなければならないと改めて感じました。大変為になる内容を企画、開催して頂き、感謝いたします。

とても分かりやすい内容でした。弊館では3年前に大きなカビ被害に遭い、それからカビ対策に追われてきました。はっきりとした原因が分からず、専門業者からアドバイスを

いただきながら対策してきましたが、意外なところから水シミ跡が見つかったり、空調からの水漏れが起きたりして、原因を推測しています。それら一つ一つの対策や原因と思われることが間違っていなかったと、今回のセミナーを拝聴して自信になりました。また、カビの発生に気が付くのが遅くなり、被害が大きくなったと考えておりますが、資料の整備もおざりになっていたのが一つの原因です。現在、それらを整えている最中ですが、教えていただいた掃除機や刷毛での手入れは行っていないので、今後導入していこうと思います。ウェビナーという形式で、運営される福岡教育大学様や講師の明治クリックス様は不便な部分もあったかと思いますが、遠方からでも気軽に参加することが出来ました。誠にありがとうございました。
とても勉強になる研修でした。開催いただきありがとうございました。
オンライン研修で、職員複数名で参加させていただきました。内容についても、特に実演していただいたことでとてもわかりやすく、今後参考にさせていただきたいと思いました。ありがとうございました。
大変ためになる研修でした。一緒に受講した人も同様のことを言っていました。ありがとうございました。
資料の水濡れやカビの対策で、建物の構造を調べたり、水漏れの経路・原因を探る講義を拝聴するのは初めてでした。講義と実技のバランスもよく、大変勉強になりました。些細なことですが、アンケートの1で、「非常に良くなかった」が一番上にあるので間違えそうになりました。また、講義についての感想を尋ねる設問がないのも珍しいと思いました。業務でアンケートを作成する機会もありますので、何か意図があってそのようにされているのか気になりました。
実際のクリーニング風景が最初から最後まで通して見れたのがとても良かったです。ありがとうございました。
貴重なお話ありがとうございました。また機会がありましたら参加させていただきたいと思います。
オンライン形式だったので、参加できました。今後もこの形式での開催を希望します。
カビが発生して悩んでいたのも、図書の取り扱い方がわかり大変勉強になりました。
今回は貴重なお話をありがとうございました。チェック箇所や方法について、また、クリーニング方法についても基本から教えていただきとても参考になりました。また、オンライン形式にさせていただいたことで、今回参加ができました。通常の往来ができるようになっても、オンラインでの参加も続けていただければ幸いです。回答が遅くなり申し訳ございませんでした。
現在図書に関する様々なことを学ばせていただいております、少しでも興味を引くセミナーがあれば難易度に関わらず参加させていただいております。本来の対面式では参加数も限られますが、オンラインであれば業務にも支障なく受講することができますので、今後もオンライン（併用を含め）での開催をお願いいたします。
図書のカビ対策・掃除に使用する道具などを具体的に知ることができ、大変勉強になりました。日々の業務で役立てていきたいです。ありがとうございました。
実演がとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。

ご多用のところ本セミナーを企画・実施いただきありがとうございました。
業務の都合で離席した時間があり、全体を通して受講できず申し訳ありません。
期間限定でかまいませんので、アーカイブ等を配信していただけると非常にありがたい
です。
よろしくお願いいたします。